

令和元年度 学校教育における福祉教育の取組状況

1. 学校名	高島小学校	
2. 事業名	花植え作業	
3. 計画の該当施策	基本計画	4. 未来を築く子どもが健やかに育つための環境づくり
	施策	(2)やさしい心を育む環境の推進
	施策の方向	③家庭・学校・地域における福祉教育の推進
4. 事業目的	「心の美しい子ども」を教育目標に掲げ、感謝と思いやりの心を持ち、主体的に実践できる子どもの育成を目指す。	
5. 事業内容	<p>心豊かな子どもの育成をめざし、5年生が地域の高島小環境ボランティアの皆さんと花植え作業を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日 令和元年6月13日(木) 午前10時～11時 ・場所 高島小学校花壇 ・参加人数 5年生 54名 高島地区の環境ボランティアの皆さん 15名 ・内容 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の方々から花植えの仕方をグループごとに教えていただく。 ・地域の方への感謝の気持ちと花を育てていこうとする気持ちを育む。 	
6. 写真		
7. 効果	<p>地域の方々は、子ども一人一人に丁寧に優しくご指導くださり、子どもたちとのふれあいの時間を楽しんでいるようだった。子どもたちは、近所の知り合いの方や子ども見守り隊の方など、いつも挨拶を交わしている方からご指導をいただき、地域がさらに身近に感じられたようだ。</p>	
8. 課題	<p>今後、コロナウイルス対策も考えながら計画を立てることが難しい。</p>	
9. 今後の取組の方向	<p>これからも子どもたちが、地域に目を向けて、様々な人と関われる活動を進めていきたい。</p>	

令和元年度 学校教育における福祉教育の取組状況

1. 学校名	二井宿小学校	
2. 事業名	地域の読み聞かせ・昔語り	
3. 計画の該当施策	基本計画	1. 人と人がふれあう福祉コミュニティづくりの推進
	施策	(2) 地域住民自らが進めるコミュニティ活動の活性化と支援
	施策の方向	③世代間交流の推進
4. 事業目的	「やさしく」を学校教育目標に掲げ、思いやりの心を持ち、みんなと協力できる子どもの育成を目指す。	
5. 事業内容	<p>地域の「語り部の会」や「読み聞かせの会」の協力により、民話の語りと読み聞かせを朝の時間に定期的に行っている。</p> <p>『民話の語り』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日 令和元年6月～令和2年2月の第1木曜日 午前8時25分～8時40分 ・場所 二井宿小学校 ワークスペース ・参加人数 全校生43名 語り部の会6名 教職員5名 ・内容 全校生が2か所に分かれて、昔話を聞く <p>『読み聞かせ』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日 令和元年6月～令和2年2月の第2木曜日 午前8時25分～8時40分 ・参加人数 全校生43名 読み聞かせの会5名 教職員5名 ・内容 全校生が3か所に分かれて、絵本の読み聞かせや紙芝居を聞く 	
6. 写真		
7. 効果	児童と地域住民との交流の場となっている。また、多少聞き取りにくくても最後までしっかりと話を聞くことや感想を進んで発表する力が児童に身に付いてきている。	
8. 課題	話の内容が学校教育や児童の実態に相応しいものかどうかを事前に確認する。	
9. 今後の取組の方向	大社大学や民話フェスタでの5・6年生昔語り発表などを通して、児童の表現力をさらに高めていきたい。	

令和元年度 学校教育における福祉教育の取組状況

1. 学校名	二井宿小学校		
2. 事業名	二井宿安全見守り隊		
3. 計画の該当施策	基本計画	4. 未来を築く子どもが健やかに育つための環境づくり	
	施策	(1) 地域ぐるみの子育ての推進	
	施策の方向	① 地域で子どもを見守り育てるしくみづくり	
4. 事業目的	「やさしく」を学校教育目標に掲げ、思いやりの心を持ち、みんなと協力できる子どもの育成を目指す。		
5. 事業内容	<p>毎日の登下校でお世話になっている「二井宿安全見守り隊」との顔合わせや感謝の会(コロナ感染防止のため中止)を行った。</p> <p>日々の登下校時に、見守り隊へ感謝の言葉を伝える取組を高学年中心に児童が自主的に行った。</p> <p>『見守り隊顔合わせ』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日 令和元年4月10日(水) 午前8時25分～9時00分 ・場所 二井宿小学校 体育館 ・参加人数 全校生43名 見守り隊12名 教職員9名 ・内容 見守り隊の紹介、見守り隊の挨拶、児童の挨拶 <p>『見守り隊感謝の会』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施予定日(中止) 令和2年3月18日(水) 午前8時25分～9時00分 ・参加予定人数 全校生43名 見守り隊12名 教職員9名 ・内容(予定) 花束贈呈 見守り隊の挨拶、児童の挨拶 		
6. 写真	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>		
7. 効果	地域住民による登下校時の見守り・安全指導を通して、地域住民に対する感謝の心や地域活動への関心を高め、地域の一員としての自覚を育むことができた。		
8. 課題	「見守られるのが当たり前」と考え、児童の自力解決力が低下したり、感謝の気持ちが薄らいだりしないようにしたい。		
9. 今後の取組の方向	見守り隊のネットワークを生かし、地域と学校がより協力し合う関係作りを行っていききたい。		


令和元年度 学校教育における福祉教育の取組状況

1. 学校名	二井宿小学校	
2. 事業名	認知症サポーター講座	
3. 計画の該当施策	基本計画	4. 未来を築く子どもが健やかに育つための環境づくり
	施策	(2)やさしい心を育む環境の推進
	施策の方向	②実践的な福祉教育の推進
4. 事業目的	「やさしく」を学校教育目標に掲げ、思いやりの心を持ち、自主的に福祉活動を実践できる子どもの育成を目指す。	
5. 事業内容	<p>自主的に実践できる児童の育成に関わって、高齢者に対する活動として、「お年寄りへの手紙」「敬老会での鼓笛発表」「大社神社での語り発表」を毎年行っている。また、「認知症サポーター講座」を隔年で行い、やさしさと思いやりの心を育てている。</p> <p>『認知症サポーター講座』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日 令和2年1月17日(金) 午後1時50分～2時35分 ・場所 二井宿小学校 学習室 ・参加人数 3～6年生 教職員5名 ・内容 高島町健康長寿課職員4名に来校していただき、児童向けに認知症への対応に関わる授業をしていただいた。 	
6. 写真		
7. 効果	講師の話を集中して聞く姿が見られ、児童が積極的に質問をしたり、感想を述べたりするなど、積極的に高齢者に関わっていかうとする姿が見られた。	
8. 課題	児童数が減少しているが、隔年の実施を継続していきたい。	
9. 今後の取組の方向	専門的な外部講師による福祉教育を積極的に取り入れていきたい。	

令和元年度 学校教育における福祉教育の取組状況

1. 学校名	二井宿小学校	
2. 事業名	三機関合同避難訓練	
3. 計画の該当施策	基本計画	6. 地域で誰もが安心して暮らせる快適な環境づくり
	施策	(1)安心して暮らせる生活環境の整備推進
	施策の方向	②地域ぐるみで防災・防犯力を高める
4. 事業目的	「たくましく」を学校教育目標に掲げ、体をきたえ、健康で安全な生活ができる子どもの育成を目指す。	
5. 事業内容	<p>健康で安全な生活ができる子どもを育成するため、危険回避能力を育む安全教育や防災教育を行っている。</p> <p>『三機関合同避難訓練』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日 令和2年1月10日(金) 午前10時30分～11時00分 ・場所 二井宿地区公民館 駐車場 ・参加人数 全校生43名 教職員11名 (二井宿保育園全園児・全職員、二井宿地区公民館全職員、地域住民) ・内容 隣接する小学校、保育園、公民館の三機関で、合同避難訓練を行った。公民館駐車場への避難後に、公民館長より講評をいただいた。 	
6. 写真		
7. 効果	学校だけの避難訓練よりも、緊張感をもって児童が行動していた。非常時には、各機関が協力して避難することや、勝手な行動を慎むことを実感として学習することができた。	
8. 課題	非常放送の聞き取りにくさを改善していきたい。	
9. 今後の取組の方向	火災だけでなく、大雨等の非常災害や有害鳥獣の出没等についても地域との連携・協力を図っていきたい。	

令和元年度 学校教育における福祉教育の取組状況

1. 学校名	高島町立屋代小学校		
2. 事業名	児童館訪問		
3. 計画の該当施策	基本計画	4. 未来を築く子どもが健やかに育つための環境づくり	
	施策	(2) やさしい心を育む環境の推進	
	施策の方向	③ 家庭・学校・地域における福祉教育の推進	
4. 事業目的	次年度最高学年になるにあたり、思いやりの心と主体的に人と関わろうとする姿勢の育成を目指す		
5. 事業内容	<p>たかはた児童館へ5年生児童が訪問し、5年生が企画したふれあい活動を行った。</p> <p>実施日 令和2年1月 場所 たかはた児童館 参加人数 屋代小児童46名、たかはた児童館年長・年中のみなさん約40人 内容 グループ毎、遊びを通してふれあう。 5年生から、歌のプレゼント</p>		
6. 写真			
7. 効果	<p>事前に、たかはた児童館の先生にゲストティチャーとして来ていただき、幼児とふれあうにあたっての心構えや気をつけることを教えていただいたため、表情や話し方などに気をつけて交流することができた。そして6年生になったときに新入生を迎える気持ちを高めることができた。</p>		
8. 課題	お互いに打ち解けて交流するまでの手立てを、もう少し考えておくとよかった点。		
9. 今後の取組の方向	毎年、5年生と1年生が園児との交流をさせていただいているので、コロナが落ち着いたら、ふれあい交流活動をしていきたい。コロナの関係で直接ふれあうことが難しい場合、お手紙や作品などで交流することも考えられる。		

令和元年度 学校教育における福祉教育の取組状況

1. 学校名	高島町立屋代小学校	
2. 事業名	花いっぱい運動	
3. 計画の該当施策	基本計画	1. 人と人がふれあう福祉コミュニティづくりの推進
	施策	(2) 地域住民自らが進めるコミュニティ活動の活性化と支援
	施策の方向	③ 世代間交流の推進
4. 事業目的	花植えや花壇の管理など、共同作業をとおしてボランティア活動の促進を図るとともに、学校と地域の方が一緒に活動することで、様々な人々が手を取り合い支え合いながら誰もが自分らしく暮らしていく「ともに生きる力」を育む	
5. 事業内容	老人会5名の方と、2～6年生153名が、プランターに花植活動を行った。 1 期日 令和元年6月12日	
6. 写真		
7. 効果	植え方を一緒にしたことで、花の名前や育て方について子どもたちが興味を持ち、その後のお世話も積極的に行うことが出来た。花があることで、学校が明るくなった。	
8. 課題	特にない	
9. 今後の取組の方向	とても楽しい時間で、有意義な活動なので、コロナが収まったら再開させたい。	

令和元年度 学校教育における福祉教育の取組状況

1. 学校名	高島町立屋代小学校		
2. 事業名	みのり学習		
3. 計画の該当施策	基本計画	4. 未来を築く子どもが健やかに育つための環境づくり	
	施策	(1) 地域ぐるみの子育ての推進	
	施策の方向	① 地域で子どもを見守り育てるしくみづくり	
4. 事業目的	栽培活動を通して、勤労・栽培・収穫の喜びと苦労を地域の方に教えていただきながら体験するとともに、「生命」の大切さや感謝の気持ちを育てる。		
5. 事業内容	<p>農園の会の皆様にご協力いただき、活動を計画的に行う。</p> <p>4月下旬 堆肥まき(早朝作業)</p> <p>5月 田植え・ジャガイモ・サツマイモ・ポップコーン植え</p> <p>6月 茶豆・大豆植え</p> <p>7月～10月 収穫</p> <p>9月 冬野菜植え</p> <p>11月 ひろすけ祭の後、餅会(収穫感謝祭)</p>		
6. 写真	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>		
7. 効果	米や野菜を実際に植え、収穫する体験を地域の方と一緒にすることで、「生命」の大切さや栽培の楽しさを学び、そして地域の方々に感謝する気持ちを育むことができる。		
8. 課題	農園の会の皆様に、植えた作物のお世話を任せっきりにならぬように、自分たちで成長の様子を見守り、積極的に草取りや観察を行うこと。		
9. 今後の取組の方向	農園の会の方と連絡を密に取り、時期を逃さずみのり学習を進めていく。		

令和元年度 学校教育における福祉教育の取組状況

1. 学校名	高島町立屋代小学校	
2. 事業名	クラブ活動で地域の方から様々な技術を学ぶ	
3. 計画の該当施策	基本計画	4. 未来を築く子どもが健やかに育つための環境づくり
	施策	(1) 地域ぐるみの子育ての推進
	施策の方向	① 地域で子どもを見守り育てるしくみづくり
4. 事業目的	屋代地区の特色を生かした活動を組むことにより、地域の方々から専門的な技術を学ぶことによって、子どもたちの興味・関心を広げるとともに、地域の方々とのふれあうことを目指す。	
5. 事業内容	<p>1学期7時間、2学期時間の年間14時間 木曜日の5～6校時(4～6年生のクラブ活動の時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パソコンクラブ ・料理クラブ ・手芸クラブ ・地域クラブ ・木工クラブ <p>合計10名の方に講師として子どもたちに様々なご指導をしていただいた。</p>	
6. 写真	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>	
7. 効果	地域の方とのふれあいはもちろんのこと、専門的な技術やこつを教えていただける喜びがあり、子どもたちにとっていつも楽しい時間となっていること。	
8. 課題	地域の先生方の後継者として、これからも学校とつながってくださる方がいていただきたい点。お孫さんが学校を卒業なさると「そろそろ…」とおっしゃるが、学校側としては、子どもたちに末永く関わっていただきたい点。	
9. 今後の取組の方向	とても楽しい時間で、有意義な活動なので、コロナが収まったら再開させたい。	

令和元年度 学校教育における福祉教育の取組状況

1. 学校名	高島町立亀岡小学校	
2. 事業名	高齢者施設訪問	
3. 計画の該当施策	基本計画	1. 人と人がふれあう福祉コミュニティづくりの推進
	施策	(2) 地域住民自らが進めるコミュニティ活動の活性化と支援
	施策の方向	③ 世代間交流の推進
4. 事業目的	学校教育目標「かしこく、やさしく、たくましく」の中の、やさしさに着目させ、他人を思いやり、お互いに助け合い励まし合う児童の育成を目指す。	
5. 事業内容	<p>「地域の中で自分たちに何ができるか」ボランティアクラブで話し合い、高齢者施設(竹とんぼ)を訪問する計画を立てた。施設では入居者の皆さんに合奏や合唱を披露したり、一緒に風船バレーをしながら交流を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日 令和元年7月11日(木) 14:20～15:30 ・場所 介護サービス「竹とんぼ」 ・参加人数 児童11人 施設の高齢者30名程 ・内容 合奏、合唱の発表と風船バレー 	
6. 写真		
7. 効果	子ども達の発表を楽しみに待っていてくださり、当日は温かな拍手をたくさんいただいた。ふるさとの合唱では目に涙を浮かべて聞いてくださった方もいて、子ども達もこれまで一生懸命練習してきたことに達成感、満足感を持つことができた。風船バレーでは高齢者の方々も子ども達も笑顔で楽しむことができた。	
8. 課題	学校のクラブ活動の時間に合わせるため、施設の皆さんに日頃の時間を変えていただく必要があった。距離的には自転車で行くことも可能であったが、熱中症対策のため町のバスを利用した。	
9. 今後の取組の方向	今後も地域のために何ができるか、子ども達のアイデアを引き出して実現させていきたいが、新型コロナ感染防止のため中止せざるを得ない現状がある。	

令和元年度 学校教育における福祉教育の取組状況

1. 学校名	和田小学校	
2. 事業名	幼児施設訪問	
3. 計画の該当施策	基本計画	4. 未来を築く子どもが健やかに育つための環境づくり
	施策	(2)やさしい心を育む環境の推進
	施策の方向	③実践的な福祉教育の推進
4. 事業目的	学校教育目標「仲良く助け合い喜んで働く子ども」に迫るため、思いやりの心を持ち、主体的に人と関わることができる子どもの育成を図る。	
5. 事業内容	<p>身近な「なごみこども園」幼児のために自分たちができることを5年生の児童が考えて訪問を行った。こども園では幼児と一緒に清掃などをしながら交流を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日 令和元年5月10日(金) 午前9時45分～10時30分 ・場所 なごみこども園 ・参加人数 5年生 24名 ・内容 清掃活動と園児との交流 	
6. 写真		
7. 効果	5年生の時に幼児との交流を体験したことで、今年、最上級生として1年生や下級生に優しい心で接することができる。	
8. 課題	45分の活動時間で、ボランティアの作業を行いながらの交流だったため、十分な交流ができなかった。活動内容を検討していく必要がある。	
9. 今後の取組の方向	現在は他との交流ができない状況ですが、状況が改善すれば様々な人と関わり、豊かな心を育む教育活動を続けていきたい。	

令和元年度 学校教育における福祉教育の取組状況

1. 学校名	高島町立糠野目小学校	
2. 事業名	ふれあい花壇の花苗植え作業	
3. 計画の該当施策	基本計画	1. 人と人がふれあう福祉コミュニティづくりの推進
	施策	(2) 地域住民自らが進めるコミュニティ活動の活性化と支援
	施策の方向	③ 世代間交流の推進
4. 事業目的	昇降口付近の花壇には、毎年2年生が地元の沢口友愛会(老人会)の皆様にご指導いただきながら花苗植えを行っている。花を植えることでやさしい心が育つこととともに、地元の高齢者の方々と作業を通して交流することを目的としている。	
5. 事業内容	<p>昇降口付近の花壇に、社会福祉協議会からいただいた「花いっぱい運動」の花苗(370本)を、2年生全員と沢口友愛会の方と一緒に植えた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日 令和元年5月29日(水) 1校時(1組)、2校時(2組) ・場所 糠野目小学校 グラウンド脇花壇(1組)、校舎前花壇(2組) ・参加人数 2年生64名(1組33名、2組31名)、沢口友愛会10名 ・内容 花苗植え作業 	
6. 写真		
7. 効果	<ul style="list-style-type: none"> ・花壇に花を植え校地を美しく飾り、枯らさないよう世話をする(水かけ)ことを通し、いのち(植物)を大切にしようとする心を育てることができた。 ・児童と高齢者が一緒に作業することを通し、自然に交流することができた。 	
8. 課題	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし(沢口友愛会の方が前日のうちに植え方の下準備をしてくださるので、当日は短時間で作業を終えることができるので、ありがたいばかりです。) 	
9. 今後の取組の方向	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年の恒例行事となっていて、沢口友愛会の方も張り切って来てくださっているようなので、今後も継続していきたい。 	

令和元年度 学校教育における福祉教育の取組状況

1. 学校名	高島町立糠野目小学校		
2. 事業名	アルミ缶・ペットボトルキャップ回収		
3. 計画の該当施策	基本計画	4. 未来を築く子どもが健やかに育つための環境づくり	
	施策	(2) やさしい心を育む環境の推進	
	施策の方向	③ 家庭・学校・地域における福祉教育の推進	
4. 事業目的	自分たちができる小さなことの積み重ねが、ほかの人の助けになったり困っている人に喜んでもらったりすることになることを実践的に体験する。		
5. 事業内容	<p>児童会のJRC委員会が中心となり企画・運営する事業。 家庭で出たアルミ缶やペットボトルキャップを回収することを全校児童に呼びかけ回収し換金などする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・回収方法 昇降口ホールに回収箱を準備しておき、毎週水曜日登校時に回収する ・回収期間 令和元年6月～令和2年1月 ・換金方法 アルミ缶は回収業者に買い取っていただき、まほろば荘に贈る車椅子の購入資金にする →令和元年度は2,350円 ペットボトルキャップは「山形銀行」に回収を依頼し、ポリオワクチン購入の資金にしてもらう →令和元年度は大ビニル袋8袋でポリオワクチン約10人分 		
6. 写真	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>		
7. 効果	自分たちができる小さなことの積み重ねが、ほかの人の助けになったり困っている人に喜んでもらったりすることになることを実践的に体験できた。		
8. 課題	アルミ缶回収の方は車椅子購入資金に充てているが、1年ではその金額に到底届かず、(金属回収の相場にもよるが)5～6年でやっと1台分贈れるというペースである(前回平成26年度)。毎年金額等は知らせているが、目に見えた成果を毎年感じられないという点が課題である。		
9. 今後の取組の方向	長年取り組んできて、ある意味家庭へも定着している事業なので、まずはこのまま継続したい。		


令和元年度 学校教育における福祉教育の取組状況

1. 学校名	高島町立糠野目小学校	
2. 事業名	地区敬老会での手紙渡し	
3. 計画の該当施策	基本計画	1. 人と人がふれあう福祉コミュニティづくりの推進
	施策	(2) 地域住民自らが進めるコミュニティ活動の活性化と支援
	施策の方向	③ 世代間交流の推進
4. 事業目的	核家族化が進み高齢者とふれあう機会も少なくなってきた中で、「敬老会」に合わせお年寄りの方への手紙を書いて渡すことを通して、高齢者を敬うやさしい心を育てる。	
5. 事業内容	<p>児童会JRC委員会の活動の一環として、JRC委員会の児童が手紙を書き、「糠野目地区敬老会」の参加者へ入口で直接手渡しでプレゼントする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日時 令和元年9月16日(月)敬老の日 9:00～10:00 ・場所 高島町体育センター(糠野目生涯学習センター) ・参加人数 児童会JRC委員会22名、引率教員2名 ・活動内容 来場された敬老会参加者へ手紙をプレゼントする 	
6. 写真		
7. 効果	敬老会参加者からも大変喜んでいただき、過去には学校宛に返事を下さった方もいらっしゃった。	
8. 課題	新型コロナウイルス感染対策のため、今年度の地区敬老会は中止が決定している。来年度以降については、敬老会の開催動向による。	
9. 今後の取組の方向	未定	

令和元年度 学校教育における福祉教育の取組状況

1. 学校名	高島町立糠野目小学校		
2. 事業名	「まほろば荘」訪問		
3. 計画の該当施策	基本計画	4. 未来を築く子どもが健やかに育つための環境づくり	
	施策	(2) やさしい心を育む環境の推進	
	施策の方向	③ 家庭・学校・地域における福祉教育の推進	
4. 事業目的	核家族化が進み高齢者の方とふれあう機会も少なくなっている中で、高齢者との交流を通して、やさしく他人を思いやる心を育てる。		
5. 事業内容	<p>児童会JRC委員会の活動の一環として、JRC委員会の児童が学区内にある特別養護老人ホーム「まほろば荘」を訪問し、入所している高齢者の方と交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日時 令和元年10月9日(水) 15:15～15:45 ・場所 特別養護老人ホーム「まほろば荘」 ・参加人数 児童会JRC委員会22名、引率教員2名 ・活動内容 歌の発表、プレゼント渡し、お年寄りとの交流 		
6. 写真			
7. 効果	子どもたちにとっては上記目的をもって行っている行事だが、入所者の方にも大変喜んでいただいている様子を見て子どもたちからも「喜んでもらってよかった」というような感想が聞かれた。		
8. 課題	新型コロナウイルス感染対策で、少なくとも今年度については中止せざるを得ない。今後どのような形で交流ができるか検討していく必要がある。		
9. 今後の取組の方向	未定		

令和元年度 学校教育における福祉教育の取組状況調査票

1. 学校名	高島町立高島中学校	
2. 事業名	「利他」の心を育む学級・委員会活動	
3. 計画の該当施策	基本計画	2. 地域支え合いの充実
	施策	(2) やさしい心を育む環境の推進
	施策の方向	② ボランティアやNPO活動の拡大
4. 事業目的	<p>高島中学校生徒会宣言「利他」の心を育むためにこの活動を計画した。</p> <p>(生徒会宣言「利他」とは、高島中生徒会がこれから先も大事にしていくこととして、平成30年度に全校生で確認し、策定したものです) ※別紙参照</p>	
5. 事業内容	<p>「利他」の心を育むために、各学級や委員会で何ができるのかを考え、実践した。</p> <p>(実践例)</p> <p>① アルミ缶回収による盲導犬募金活動 ② 古着やプルタブ回収 ③ 学校周辺のゴミ拾い ④ 校舎内のボランティア清掃 ⑤ 学年縦割りによる教え合い活動 ⑥ 「ありがとう」の気持ちを伝える活動 等</p>	
6. 写真	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">  </div>	
7. 効果	<p>話し合いを行う際、教師から活動内容を提示するのではなく、「利他」につながる活動で自分たちができることにはどんなものがあるのか、その活動は「利他」につながるのか、自己満足にならないか、ということをじっくりと時間をかけ話し合いを行った。そのため、「やらされている」活動ではなく、自分事として捉え、自主的に取り組む生徒が多かった。</p>	
8. 課題	<p>教育課程の中で、生徒や担任の負担になる場合もあり、実施時期や内容等を調整する必要があった。単年度的な活動ではなく、次年度を見越しての活動を計画しても良かった。</p>	
9. 今後の取組の方向	<p>生徒の自主的に活動する姿を大事にするためにも、今後も継続して取り組んでいきたい。(今年度は、コロナの状況を見ながら、可能な範囲で実施していきたい。)</p>	

「生徒会宣言」

たか はた
高富中の

高富中学校
生徒会宣言
～高富中生徒会が大事にしていること～

互いに励まし合い、
隔き合いながら
め続ける
てでありたい

高富中 生徒会宣言
利他

「利他」とは・・・
他の人のためにがんばる
他の人の役に立つ
自分も成長することができる

生徒会宣言を考案した生徒会メンバー

利他の心が 誇りになる

開校4年目 全校スローガン

生徒会宣言の発表を聞く生徒たち



三本柱

- 一、自治と自立を第一とする
- 一、常に仲間を思いやる
- 一、感謝の気持ちを大事にする

高富町高富中(遠藤正真校長、646人)は町内四つの中学校が統合し、開校4年目を迎えました。新校舎で3年間を過ごした生徒会幹部が3月、スローガンとなる「生徒会宣言」を行いました。全校生徒が大切にすべき思いを定めたもので、他者を思いやることを意味する「利他」に決まりました。

統合中学校の卒業生として学校の礎をつくらうと、生徒会の正副会長、議長、事務局長の計6人が1年かけて検討を重ねました。利他の精神は、町出身の童話作家浜田広介の作品にも通じていることから選ばれました。宣言では▽自治と自立を第一とする▽常に仲間を思いやる▽感謝の気持ちを大事にする一の三本柱も掲げています。

3月13日の全校集会で元生徒会長の大本佑香さん(15)が発表し、生徒たちが拍手で祝福しました。大本さんは「未来の町を担う後輩たちが『利他』を受け継いでくれると確信した」とうれしそうでした。

(張元かおり)

やましん 週刊
ヨモニーヤ
ぱーく 396号
小中学生新聞

今週の見どころ

- 2 ワクワク熱中kids
- 3 宇宙から未来を語ろう
- 4 5 放課後ニュース
- 6 英語バズル
- 7 レッツ英語
- 8 山形のとんと昔

〒990-8550 山形市旅籠町2-5-12
電話 023 (622) 5271 (総台案内)
©山形新聞社2019